

NO. 59

September.2024



Sagami Women's University

後援会会報



Supporters Bulletin



相模女子大学 後援会
相模女子大学短期大学部

発行日／2024年9月29日 発行所／相模女子大学・相模女子大学短期大学部後援会

編集責任者／後援会事務局 住所／〒252-0383相模原市南区文京2-1-1 電話／042-747-9067

目次

後援会会長からのご挨拶、2024年度役員選出	1	2024年度収支予算書、2024年度事業計画	5
2024年度「教育懇談会」開催報告	2	大学だより	7
定期総会（書面審議）開催報告、2023年度事業報告	3	教員からのご挨拶（学長/学科長・研究科長/新任教員）、相生祭イベント実施について、大学近況報告、就職状況報告、2024年度オンライン報告会（就職編）開催のお知らせ、2023年度進路決定状況	
2023年度収支決算書	4		

後援会会長からのご挨拶

2024年度後援会会長 田崎 朋子

会員の皆様には、いつも後援会活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。昨年度に引き続き、相模女子大学・相模女子大学短期大学部の後援会会長を務めます田崎朋子です。どうぞ宜しくお願い致します。

後援会は、学生の明るい未来を支援するために存在しています。そして、入学と同時に保証人の皆様が全員入会されていて、皆様からの会費で運営されています。本年度は、役員18名で活動を始めています。主な活動は、常任理事会、理事会、定期総会、教育懇談会、オンライン報告会の開催、相生祭への参加、会報の発行、その他学生の学習支援、課外活動支援、地域活動支援、災害対策等、多岐にわたります。活動の詳細は、11月に開催される相生祭の中で、後援会の活動を紹介するブースにて、ご紹介させて頂く予定であります。また、昨年度ご好評をいただきました女性ならではの健康促進コーナーも併設される予定です。皆様に

足をお運び頂ける事を楽しみにお待ちしております。

後援会は、このような活動を通して、相模女子大学・相模女子大学短期大学部の学生の皆様、保証人の皆様の声に耳を傾け、学生が心身共に健やかな学生生活を送る事を、明るく輝かしい未来を築く事を、これからも支援し続けます。

そして、来年は、学園が創立125周年を迎えます。学園の更なる発展と学生の素晴らしい未来を願って、ご挨拶とさせていただきます。

最後になりましたが、改めて関係者の皆様に感謝の意を表します。



… 2024年度役員選出 …

会長：田崎 朋子 副会長：小松 薫、齊藤 千鶴

常任理事（総務部・事業部・会計部担当）：渡邊 知佳、増田 理香子、千葉 治江

理事：川上 智裕、工藤 清美、二階堂 充、渡邊 晴代、岡本 陽子、加藤 英津子、北川 達也、森野 純子、大河原 裕代、松尾 理恵

監事：松井 巳知子、高野 貴子

役員の任期は、2024年度定期総会終了後から2025年度定期総会終了時まで。

2024年度「教育懇談会」開催報告

相模女子大学・相模女子大学短期大学部の教育に関する取り組みを会員の皆様に知っていただくための懇談会です。対面での懇談会の実施と、教育内容に関する報告動画をオンデマンド配信しております。

学科毎の懇談会 及び 教育個別面談

対面

2024年6月15日（土）相模女子大学7号館及び11号館にて開催し、150名の会員の皆様にご参加いただきました。

プログラム

①学科毎の懇談会

学科毎の教室で、各学科における授業支援等について、学科長が説明を行いました。
※管理栄養学科では、管理栄養士の国家試験に関する説明も行いました。

②教育個別面談

個別ブースにおいて、主にクラス担任の教員と学習・就学状況等に関する面談を行いました。



教育個別面談の様子

参加者の声

【①学科毎の懇談会】

- オープンキャンパスで伺った内容よりも具体的に4年間で行う授業の内容が聞けたので、見通しが立てて良かったと思います。
- 色々な分野を経験しておくことが良いということ、「そもそも」を突き詰めて根本を見出すという考え方が面白いと思いました。
- 一年生なので、一年間のスケジュールや学校生活の授業の雰囲気理解できました。
- 学科の方針や具体的な活動が分かった。子どもからは聞いたことがないことばかりだったので、とても参考になりました。

【②教育個別面談】

- 今の娘に必要な大切なことを教えていただきました。
- お忙しい中ありがとうございました。学校の様子や就職のお話が聞けて良かったです。3年生に向け自分のやりたい事を見つけ希望の就職先に行けるよう見守りたいと思っています。
- このような機会を設けて下さり保護者としてはとても安堵しております。

オンライン報告会（教育編）～輝くサガジョ生に会いたい!!～

オンライン

相模女子大学・相模女子大学短期大学部の教育内容に関する報告動画を登録者限定の専用ページにて配信中です。

動画配信期間

2024年6月28日（金）～2025年6月予定

動画をまだご覧いただいていない会員の皆様、また、学生の皆様もぜひご視聴ください。

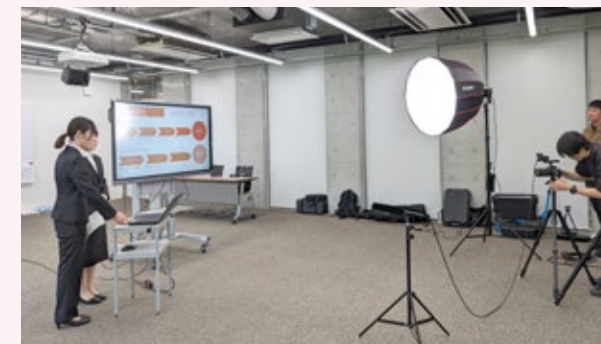
動画視聴方法

郵送にてご案内しております「開催のご案内」に記載のURLより「オンライン報告会」のトップページを表示し、視聴者情報登録を行った上でご視聴ください。
URLがご不明の方は後援会事務局までお問い合わせください。

後援会事務局 連絡先 042-747-9067
Mail: kouenkai@mail2.sagami-wu.ac.jp
開室時間 10:00～18:00（月・水・金）

配信内容

- (1) 相模女子大学・相模女子大学短期大学部の現況について
- (2) 本学の社会貢献活動について
- (3) 学生報告 中央執行委員会
- (4) 学生報告 「さがじょの四季クッキー」パッケージデザイン・ラベルデザインチーム



学生報告の撮影の様子

定期総会（書面審議）の開催報告

今年度の定期総会について、書面審議にご協力いただき誠にありがとうございました。

2024年度定期総会議決結果

2024年5月17日(金)～6月9日(日)の期間に、オンライン表決で回答をいただきました結果について、次のとおり報告します。

各議案に対するオンライン表決結果

議案	賛成	反対
第1議案 2023年度 事業報告の件	268	0
第2議案 2023年度 収支決算報告及び監査報告の件	267	0
第3議案 後援会常任理事会及び理事会における意思表示書の導入(案)の件	265	1
第4議案 後援会会則の一部改正(案)の件	268	0
第5議案 2024年度 役員選出(案)の件	266	0
第6議案 2024年度 事業計画(案)の件	268	0
第7議案 2024年度 収支予算(案)の件	267	0
第8議案 2024年度 後援会会議・行事日程(案)の件	267	0

※全ての議案の「賛成」には「委任状提出分(55件)」を含んでいます。

ご意見等について

多くの皆様よりご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。大学・短期大学部に対するご意見等につきましては、大学・短期大学部に報告いたします。後援会の事業・予算に対するご意見等につきましては、今後の運営に活かして参りたいと存じます。今後ともご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2023年度 事業報告

会議等の開催

定期総会(書面審議・電子表決)

2023年5月19日(金)～6月11日(日)の期間に後援会ホームページ上で総会資料を公開し、グーグルフォームにて電子表決を行った。

役員会等

- 2022年度会計監査 2023年4月22日(土)
マーガレット本館会議室5
- 2022年度常任理事会・理事会 2023年4月22日(土)
マーガレット本館会議室1・2
- 2023年度第1回常任理事会 2023年7月15日(土)
7号館 721教室
- 2023年度第1回理事会 2023年7月21日(金)～2023年7月27日(木)
書面形式にて開催
- 2023年度第2回常任理事会・理事会 2023年9月23日(土)
マーガレット本館会議室1・2
- 2023年度第1回会計監査 2023年12月2日(土)
マーガレット本館会議室4
- 2023年度第3回常任理事会・理事会 2024年2月10日(土)
夢をかなえるセンターガーデンホール
- 2023年度第2回会計監査 2024年4月20日(土)
イングリッシュルーム
- 2023年度第4回常任理事会・理事会 2024年4月20日(土)
夢をかなえるセンターガーデンホール

教育懇談会

開催日: 2023年6月10日(土)
場 所: 7号館及び11号館 各教室

オンライン報告会(教育編)～輝くサガジョ生に会いたい!!～

動画配信期間 2023年6月30日(金)～2024年6月28日(金)

オンライン報告会(就職編)～昔とは違います!今どきの就職活動～

動画配信期間 2023年11月29日(水)～2024年11月予定

相生祭「後援会活動紹介コーナー」

共 催: (公財)かながわ健康財団「健康促進コーナー」
開催日: 2023年11月3日(金・祝)、4日(土)
場 所: 7号館 1階ラウンジ・725号室

相模女子大学・相模女子大学短期大学部に対する援助

- 教育研究活動の充実を図る。
後援会図書購入助成費取扱要項に基づき電子書籍を購入した。また、学外から電子書籍やデータベースを閲覧できるシステム「EZproxy」を継続した。
- 学生の福利厚生の充実を図る。
①学生のクラス会開催について、173件のクラスに経費の一部を助成した。

- ②卒業生記念品として、大学名(英字)の入った化粧筆(熊野筆)を贈った。
- ③卒業記念パーティーの経費を助成した。
- (3) 学生の課外活動の充実と活性化を図る。
①クラブ・委員会活動に必要な用品の購入経費の一部を助成した。アーチェリー部、バスケットボール部、バドミントン部、硬式庭球部、剣道部、ダンスクラブEASTER、奏弦華、茶道部、漫画研究部、能楽宝生会、かるた部 計11団体
- (4) 学生の課外活動における顕著な活動を顕彰する。
課外活動の分野で顕著な活躍をした個人5名と団体6件が課外活動奨励賞を受けたことに対して、後援会より副賞を授与した。
- (5) 学生の就職活動を支援する。
就職に関する各種講座やイベントの経費の一部を助成した。低学年向けキャリアガイダンス、公務員試験対策オンデマンド講座、就職特訓講座【基礎編】【実践編】 等

学習支援助成費

学習支援に関する経費の一部を助成した。中央執行委員会主催ディズニーテーブルマナー講座費用一部助成、情報システム課パソコン返却用ロッカーの設置

地域連携助成費

大学が取り組んでいる地域連携活動に自主的に参加している学生(個人・団体)に対し、活動に係る経費の一部を助成した。FMさがみラジオ出演(神奈川県相模原市) 田植え体験、農作業体験、稲刈り体験(福島県本宮市) 田植え体験、稲刈り体験(三重県熊野市) ノジマステラ神奈川相模原 試合運営ボランティア(神奈川県相模原市) 訪問活動(福岡県糸島市)、訪問活動(岩手県大船渡市) 訪問活動(新潟県佐渡市)、能合宿(新潟県佐渡市) 梅酒「翠想」ラベル貼り(神奈川県相模原市) おっきりんピック宣伝部訪問(群馬県富岡市) 日光マウンテンランニングボランティア(栃木県日光市)

刊行物について

2023年9月に会報57号、2024年3月に会報58号を刊行し、後援会ホームページに掲載した。

災害対策助成について

2023年度分の「非常用防災セット」を765セット購入した。

弔慰

会員のご不幸は大学8名。会則に則り弔意を表した。

その他

予備費にて以下を購入・設置した。
・就職支援課内の学生貸出用ブースへのオンライン面接用備品購入
・就職支援課内の個別面談スペースへの吸音パーテーション設置
・学修・生活支援課の個別面談スペースへのパーテーション設置

2023年4月1日から
2024年3月31日まで

収入決算額 46,986,134円

支出決算額 33,099,671円

13,886,463円 (次年度へ繰越)

事務費

主に総会、各種懇談会等の運営費用となります。

事務費の多くは配付資料の印刷費、懇談会の案内を発送する際の通信費に充てられています。

就職対策 助成費

学生の就職活動を支援するため、各種講座・試験の受講費補助や、講師謝礼、就職関連図書の購入等を行っています。

教育懇談会経費・ 就職懇談会経費

昨年度に引き続き、オンライン報告会(教育編)(就職編)の動画配信を行いました。

学習支援助成費

ディズニーテーブルマナー講座の一部助成、またパソコン返却用ロッカーを設置しました。



災害対策助成費

地震等の災害時に大学に滞留せざるを得ない学生のための「非常用防災グッズ」を765セット購入しました。

非常用防災セット

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減(△)(A-B)
1.会 費	36,470,000	35,500,000	970,000
2.寄 附 金	0	0	0
3.雑 収 入	60	89	△ 29
4.前年度繰越金	11,486,045	11,486,045	0
合 計	47,956,105	46,986,134	969,971

※本年度会費 大 学 3,418名×10,000円＝ 34,180,000円
短期大学部 132名×10,000円＝ 1,320,000円

【支出の部】

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減(△)(A-B)
1.事 務 費	4,632,390	4,125,303	507,087
(1) 印刷製本費	150,000	82,920	67,080
(2) 消耗品費	30,000	7,256	22,744
(3) 通信費	1,030,390	883,992	146,398
(4) 弔 慰 費	400,000	247,375	152,625
(5) 旅費交通費	150,000	83,760	66,240
(6) 渉 外 費	20,000	0	20,000
(7) 雑 費	10,000	0	10,000
(8) 業務費	70,000	48,000	22,000
(9) 業務委託費	2,772,000	2,772,000	0
2.事 業 費	26,826,614	20,930,091	5,896,523
(1) 学生関係費	19,858,250	14,134,586	5,723,664
① 課外活動助成費	2,610,000	1,175,563	1,434,437
② 福利厚生助成費	6,300,000	5,456,807	843,193
③ 学生指導助成費	10,000	0	10,000
④ 就職対策助成費	10,938,250	7,502,216	3,436,034
(2) 行 事 費	2,700,000	2,643,840	56,160
① 大学祭等助成費	800,000	800,000	0
② 卒業記念パーティ助成費	1,900,000	1,843,840	56,160
(3) 文 化 費	4,268,364	4,151,665	116,699
① 会 報 発 行 費	604,800	581,020	23,780
② 講演会等経費	20,000	16,630	3,370
③ 教育懇談会経費	698,500	654,500	44,000
④ 就職懇談会経費	1,330,200	1,286,200	44,000
⑤ 図書購入助成費	1,614,864	1,613,315	1,549
3.会 議 費	110,000	14,473	95,527
(1) 総 会 費	0	0	0
(2) 役 員 会 費	100,000	12,000	88,000
(3) 部 会 費	10,000	2,473	7,527
4.学習支援助成費	2,251,500	2,239,000	12,500
5.災害対策助成費	1,980,000	1,532,975	447,025
6.地域連携助成費	5,000,000	3,251,272	1,748,728
7.国際教育助成費	1,000,000	0	1,000,000
8.予 備 費	6,155,601	1,006,557	5,149,044
合 計	47,956,105	33,099,671	14,856,434

監査報告書

私たちは、2023年度後援会収支決算書を監査の結果、その適正であることを認めます。

監 事 秋山 厚子 ㊞

監 事 永井 浩之 ㊞

監査実施日 2024年4月20日

予備費

学生の学修・生活環境を充実させるための支援として、就職支援課、学修・生活支援課内の個別面談スペース用吸音パーテーション、およびオンライン面接用のノートパソコンを設置しました。



相模女子大学
相模女子大学短期大学部 後援会

2024年度収支予算書

2024年4月1日から
2025年3月31日まで

収入予算額 46,196,552円
支出予算額 46,196,552円

【収入の部】 (単位：円)

科 目	2024年度予算額 (A)	2023年度予算額 (B)	比較増減(△)(A-B)
1.会 費	32,310,000	36,470,000	△ 4,160,000
2.寄 附 金	0	0	0
3.雑 収 入	89	60	29
4.前年度繰越金	13,886,463	11,486,045	2,400,418
合 計	46,196,552	47,956,105	△ 1,759,553

※2024年度会費 大学・短大 3,231名×10,000円 = 32,310,000円

【支出の部】

科 目	2024年度予算額 (A)	2023年度予算額 (B)	比較増減(△)(A-B)
1.事 務 費	4,502,630	4,632,390	△ 129,760
(1) 印刷製本費	100,000	150,000	△ 50,000
(2) 消耗品費	30,000	30,000	0
(3) 通信費	950,630	1,030,390	△ 79,760
(4) 弔慰費	400,000	400,000	0
(5) 旅費交通費	150,000	150,000	0
(6) 渉外費	20,000	20,000	0
(7) 雑費	10,000	10,000	0
(8) 業務費	70,000	70,000	0
(9) 業務委託費	2,772,000	2,772,000	0
2.事業費	25,510,564	26,826,614	△ 1,316,050
(1) 学生関係費	18,672,000	19,858,250	△ 1,186,250
① 課外活動助成費	2,620,000	2,610,000	10,000
② 福利厚生助成費	5,800,000	6,300,000	△ 500,000
③ 学生指導助成費	10,000	10,000	0
④ 就職対策助成費	10,242,000	10,938,250	△ 696,250
(2) 行事費	2,700,000	2,700,000	0
① 大学祭等助成費	800,000	800,000	0
② 卒業記念パーティ助成費	1,900,000	1,900,000	0
(3) 文化費	4,138,564	4,268,364	△ 129,800
① 会報発行費	563,000	604,800	△ 41,800
② 講演会等経費	20,000	20,000	0
③ 教育懇談会経費	654,500	698,500	△ 44,000
④ 就職懇談会経費	1,286,200	1,330,200	△ 44,000
⑤ 図書購入助成費	1,614,864	1,614,864	0
3.会議費	110,000	110,000	0
(1) 総会費	0	0	0
(2) 役員会費	100,000	100,000	0
(3) 部会費	10,000	10,000	0
4.学習支援助成費	2,251,500	2,251,500	0
5.災害対策助成費	1,777,800	1,980,000	△ 202,200
6.地域連携助成費	5,000,000	5,000,000	0
7.国際教育助成費	1,000,000	1,000,000	0
8.予備費	6,044,058	6,155,601	△ 111,543
合 計	46,196,552	47,956,105	△ 1,759,553

★1 印刷製本費

2023年度に長3封筒の発注先を変更したことから、減額となりました。

★2 通信費

定期総会・教育懇談会およびオンライン報告会(教育編)等の案内発送予定数が減少するため減額となりました。

★3 課外活動助成費

クラブ活動補助、課外活動奨励賞等の経費を計上しました。

★4 福利厚生助成費

2024年度の卒業記念品発注予定数に基づき減額となりました。

★5 就職対策助成費

無料の模擬試験が増えたこと、無料の講座を多く取り入れたこと、講座実施用Zoomライセンス費用について就職支援課での支払いが不要となったことから減額となりました。

★6 大学祭等助成費

プロコンサート及びスタッフユニフォームの経費を計上しました。

★7 教育懇談会経費

昨年度同様、対面とオンラインの併用で開催することに伴い、動画撮影費等の経費を計上しました。

★8 就職懇談会経費

昨年度同様、オンラインで開催することに伴い、講師謝礼および動画撮影費等を計上しました。

★9 図書購入助成費

図書購入費に加え、電子資料閲覧システムのライセンス料の支払いを計上しました。

★10 学習支援助成費

さらなる学習環境の整備を検討し、実施するため、昨年と同額を計上しました。

★11 災害対策助成費

防災セットの価格改定はありましたが、発注数が減少することから減額となりました。

★12 予備費

学生への支援経費とし、状況に応じた柔軟な対応のための経費と位置づけ執行いたします。

2024年度事業計画

後援会は、以下の通り、引き続き大学の教育研究活動、学生の福利厚生、課外活動等を最大限に支援する。

会議等

- (1) 常任理事会及び理事会を必要に応じて開催し、重要事項を審議する。
- (2) 定期総会を1回開催する。／書面形式・電子表決での開催
- (3) 教育懇談会を開催する。／6月 ハイブリッド形式(対面形式の懇談会及び個別面談等+オンライン報告会(教育編))での開催
- (4) 相生祭に参加する。／11月3日(日・祝)、4日(月・振休)
- (5) オンライン報告会(就職編)を開催する。／11月 オンデマンド配信
- (6) その他

相模女子大学・
相模女子大学短期大学部に対する援助

- (1) 教育研究活動の充実を図る。
- (2) 学生の福利厚生の充実を図る。
- (3) 学生の課外活動の充実と活性化を図る。
- (4) 学生の課外活動における顕著な活動を顕彰する。
- (5) 相生祭等、学生の自主的活動を援助する。
- (6) 学生の就職活動を支援する。
- (7) 学生の地域連携活動を援助する。
- (8) その他

会員への情報発信

- (1) 会報(年2回 9月・3月)
後援会ホームページにPDFを掲載する。
- (2) 後援会ホームページの運用／後援会の新着情報・インフォメーションの発信、後援会から援助した学生活動等の紹介等

弔慰

学生、学生の父母または保証人の死亡に対して弔慰金を支給する。

大学だより ■■■ 教員からのご挨拶 ■■■

相模女子大学・相模女子大学短期大学部 学長 田畑 雅英

「授業期間外」の学び

平素相模女子大学・相模女子大学短期大学部の教育と運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

大学や短期大学の授業時間は多くの場合1コマ90分と決まっていたのですが、大学設置基準が改正されて、科目の総時間数が担保されていれば、1コマあたりの時間は大学によって弾力的に設定できるようになりました。これによって授業時間100分や105分という大学も現実増えつつあります。現在15週と決まっている学期期間が14週または13週に圧縮されることとなりますので、その点でも学生生活に与える影響は大きいと言えます。

ただし、それだけ「休みの期間が増える」という考えは実は適切ではありません。大学の学びは授業期間内、キャンパスの中だけに限定されているわけではありません。大学としても授業期間

内はもちろん、授業のない期間も含めて、正課と正課外を通して教育の基本方針を持っているわけですが、それでもとりわけ授業期間外は、各学生の主体的な自己管理と計画による広い意味での「学び」が実践される時間となります。これをどう過ごすかで、各自の成長にも大きな違いが出てきます。

正解は決して一つではないと思います。それぞれのテーマを持って「授業期間外」の時間を過ごし、充実した大学・短期大学生活を送ってほしいと思いますし、ご家族の皆様もそれを見守っていただきたいと思います。



日本語日本文学科 学科長 永谷 直子

後援会の皆様のおたたかいご支援に、感謝申し上げます。

本年春、コロナ禍の2020年度に入学した学生が卒業を迎え、それぞれの道に歩みを進めました。大学生生活のおよそ半分がオンライン授業であった学年でしたが、「人と関わる」とは何か、「学ぶ」とは何か、ということを真剣に考えた学年でもあります。環境を柔軟に受け入れ、学びを進める姿は頼もしいものでした。教職課程、司書課程を履修する学生も多く、教員採用試験に関しては中学(国語)7名、高等学校(国語)3名が合格を果たし、この春から教壇に立っています。

日本語日本文学科では、「ゆっくり学ぶ、しっかり生きる」をテーマとしています。大学での4年間のその後の道におけるしっかりと歩みにつながるよう、学生一人一人の学びを支えてまいります。



英語文化コミュニケーション学科 学科長 渡辺 幸倫

コロナ禍も落ち着き海外渡航を伴うプログラムが本格化してきました。今年に入ってすでにオーストラリア・ビクトリア大学、カナダ・マニトバ大学、韓国大邱英語村、フィリピン・ラブラブセブ国際大学などへの英語研修を始め、オーストラリアの小学校やホテルでのインターンシップなどがすでに実施されました。ただ、円安や海外の物価高の影響は大きく、思い通りに海外に行きにくい方がいるのも事実です。そこで学科では、24時間レッスン取り放題プランのオンライン英会話(ネイティブキャンプ社)で、日本に居ながらにして日常的に英語を使う機会を提供しています(学生のご家族も実費で利用できます。詳細はお問い合わせください)。また、英語学習だけではなく、社会とつながるビジネスコンテスト「神奈川産学チャレンジプログラム」にも積極的に参加し、キャンパスだけにとどまらない学びを展開しています。



子ども教育学科 学科長 宗野 文俊

後援会会員の皆さまにおかれましては、平素よりご協力、ご支援を賜り、誠に感謝申し上げます。

2008年に子ども教育学科が設置されて16年が経過し、相模女子大学の中では比較的歴史の浅い学科ではありますが、これまで多くの保育士や教員を輩出してまいりました。近頃では、保育実習や教育実習などで園や施設、学校などに訪問すると、現場で活躍している卒業生と出会うことがよくあります。元気に活躍している様子を嬉しく思うと同時に、生き生きと子どもたちと関わっている姿を羨ましくも感じます。

子どもと関わる仕事のおもしろさとやりがいを大切に、学生とともに学科教員一同取り組んでいく所存です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



メディア情報学科 学科長 今井 さやか

後援会の皆様には平素よりご支援いただき、誠にありがとうございます。

昨年よりコロナ禍前の姿に戻ってきました。学生の皆さんが相談しながら楽しそうに制作に取り組んでいる姿が見られます。コロナ禍のオンライン授業等で培ったノウハウを生かしつつ、学生の皆さんのキャンパスライフを豊かなものとしてサポートを続けていく所存です。

今年3月には2020年度から始まった現カリキュラムの学生が卒業しました。学芸員は18名、司書は3名それぞれ取得いたしました。高校の情報教諭として活躍する卒業生もおります。メディアに囲まれた現代そして将来の社会を生きる上で役立てることのできる学びを提供していきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。



生活デザイン学科 学科長 桑原 茂

今年度は63名の入学者があり、7年連続で定員を超えました。多くの学生が「AI時代だからこそ発想や創造力の必要性を感じた」と志望動機にあげ、毎晩遅くまで励まし合いながら創作活動に取り組んでいます。「課題は多いし、生み出すのは苦しいけれど、学校は楽しい」と大半が口を揃えます。2018年に経済産業省と特許庁が『デザイン経営』を掲げたように、デザイナーの「手法」と「思考法」がますます重要視されています。当科では、社会の変化に柔軟に対応し、自らの道を切り拓いていける「デザイン人材」の育成に力を入れています。



社会マネジメント学科 学科長 井坂 聡

昨年も記しましたが、私たち社会マネジメント学科の最重点目標は、4年間の学びを通じて、人生の様々な場面で、広い視野と柔軟的思考、復元力のあるしなやかさを身につけて、他人を尊重しながら自らも望む道を進むことが出来る自立した女性を社会に送り出すことにあります。

社会マネジメント学科の特徴は、教室内で得た知識を、外に出かけて実践・体験する授業が多いことです。知識を体に沁み込ませることが、より深い学びを得ることに繋がっています。そんな魅力たっぷりの社会マネジメント学科の学生の活躍を、今後ともご注目いただければ幸いです。



人間心理学科 学科長 芝田 征司

人間心理学科では、公認心理師の受験資格を目指す学生、そうでない学生のいずれにも学びがいのあるカリキュラムとなるよう、今年度より新カリキュラムをスタートさせました。2024年の社会福祉士国家試験では、受験した14名の現役学生のうち12名が合格という、非常に素晴らしい結果を得ることができました。また、昨年度からは、准学校心理士という新たな資格にも対応し、資格面での充実も図っています。後援会の皆様には、今後も一層のご支援をいただければ幸いです。私たちの学生と教育の取り組みに対するご支援を心よりお願い申し上げます。



健康栄養学科 学科長 榎本 ヒカル

健康栄養学科は今年度、新たに調理学分野担当の片平理子先生と運動生理学担当の笹田周作先生をお迎えし、専任教員20名の体制で学生教育を担っております。

健康栄養学科では来年度より新たなカリキュラムをスタートします。栄養士をベースに「スポーツ健康科学」「食ビジネス」「生活科学」科目を選択できる緩やかなコース制を実施します。栄養士資格やフードスペシャリスト受験資格、あるいは家庭科の教員免許が取得できるところは現状のまま、新たに保健体育の教員免許が取得できるよう現在申請中です。また食ビジネス関連科目を増やし、食品の生産から流通までを系統的に学べるようになり、これまで以上に多彩な「食と健康のスペシャリスト」を育成していく学科となります。

後援会の皆様には引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



管理栄養学科 学科長 落合 裕隆

管理栄養学科では、「生きる力、豊かな人間性、高度な専門性を備え、情熱をもって、社会と人々の健康とQOL(生活の質)の向上に貢献できる管理栄養士」を育成することを目標としています。

本学科の2023年度卒業生の就職率は100%であり、就職先は、病院、給食会社、高齢者福祉施設、公務員、歯科医院、ドラッグストア等、多岐にわたります。

本学科の学生が、卒業後、食を通じて様々な分野で活躍するために、これからも学科教員一同、尽力して参ります。

後援会の皆様には、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



食物栄養学科 学科長 深作 貴子

本学科では、2年間の学びを通して、社会に貢献できる栄養士の育成を目指しております。とりわけ、入口と出口の教育を強みとし、課外活動支援に力を入れております。昨年度は、ある企業のレシピコンテストに参加し選出された学生が、その企業に就職するなど、その活動が出口となるキャリア支援にまで生かされ嬉しく思っています。一方、入口となる新入生向け栄養士入門講座の授業では、今年も現役栄養士である卒業生を招いて講演会を開催し、先輩と後輩との交流を行うことができました。今年度は、新しい先生方を4名お迎えし、今の時代に合わせた学びを提供できるように今後とも努力してまいります。



大学院栄養科学研究科 研究科長 黒岡 尚徳

栄養科学研究科では、健康栄養学科と管理栄養学科の21名の教員が各分野における最先端の授業を担当しています。今年度は博士前期課程に2名の大学院生が入学し、いずれも社会人として働きながら研究活動を行っています。今後も本研究科の特色である① 社会人が働きながら学べる(夜間や土曜授業を実施、長期履修制度がある)② 入試成績優秀者を対象とする特別奨学金制度がある③ 栄養教諭専修免許状を取得できる、といった点を積極的にアピールし、入学者を増やすよう努めていきたいと考えておりますので、引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。



大学院社会起業研究科 研究科長 金森 剛

専門職大学院「社会起業研究科」は、2年間でMBA-SE(社会起業修士)の学位がとれる、男女共学の修士課程です。社会的課題をビジネスで解決する「ソーシャル・アントレプレナー」を養成しています。院生は20代から60代までおり、まさに社会の縮図です。独立起業するだけでなく、企業や自治体の中で事業開発を行う方も対象としています。平日夜間(オンライン)と土曜日昼間(一部オンライン)に開講、学費は国立大学並みです。募集定員は30名です。
ホームページ <https://www.gsse-sagami.jp/>



新任教員紹介

英語文化コミュニケーション学科 准教授 Jason David Gold 担当科目:英語教授法 ほか

英語文化コミュニケーション学科に着任致しましたジェイソン・ゴールドと申します。アメリカ出身で、関西で8年間、関西学院大学と神戸大学でEAP(アカデミック英語)を教えていました。教育心理学(最良の学び方と教え方の理解)とポジティブ心理学(ストレス軽減と幸福な生活)が専門です。相模女子大学での授業にこれらの知識と経験を活かし、学生の学業、仕事、そして私生活の目標達成を支援しながら、英語力向上に努めたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



子ども教育学科 特任准教授 松森 久美子 担当科目:生理学、病理学、特別支援教育 ほか

4月に子ども教育学科に着任いたしました。「子どもの保健」や「知的障害児の生理・病理」などを担当しております。これまでは、言語聴覚士の国家資格取得を目指す学生を指導しておりましたが、特別支援学校の教員としての経験も現在役立っております。皆さん、真面目で素直で、大切に育てられているなと感じました。緑多い、キャンパスで、そのままの優しさをもち、素敵な保育士さんや教員になっていただけるよう努力いたします。



子ども教育学科 講師 宮野 雄太 担当科目:特別支援教育 ほか

子ども教育学科の宮野です。私は、米どころ、山形県鶴岡市出身です。主な担当科目は「知的障害教育」「肢体不自由教育」「病弱教育」です。これまで、特別支援学校の教員として勤めてきました。特別支援学校では、小学生の担任もしましたし、高校生の担任もしました。今後も、学生と一緒に特別支援教育について学び、研究を進めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。



生活デザイン学科 講師 甲賀 友子 担当科目:プロダクトデザイン ほか

今春、生活デザイン学科に着任致しました、甲賀と申します。専門はプロダクトおよび空間デザインで、主に演習科目や基礎教育を担当致します。デザインは、世界をより良くするための手段として貢献していく魅力的なものであり、単なる美的な創造だけでなく、深い洞察力やユニークな視点を通じて、社会や文化に変革をもたらす使命を帯びています。私が実務経験を通じて得られた知見やスキルを学生と共有し、実践的な学びを提供することで、デザインが高度な知的活動であり、その多様な要素を調和させるプロセスが魅力的であることを伝え、学生が将来のデザイナーとして深い理解と情熱を持って活動できるようサポートする所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



社会マネジメント学科 准教授 後藤 美緒 担当科目:共生社会論、地域社会論 ほか

4月より社会マネジメント学科に着任いたしました。4月の満開を迎えた百年桜に始まり、GWの藤棚、6月の雨で映える緑と構内には教室への移動中に足を止めるスポットに満ちています。専門とします社会学は普段は見落としがちな足元にある事柄から社会の構造を考えていくことを得意としています。授業でも構内や街に出かけながら、学生と知的な楽しみを共有したいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



人間心理学科 准教授 武部 正明 担当科目:心理学及びその関連領域

これまで横浜・相模原にて、発達障害・知的障害児・者の支援、認知症等の高齢者の支援に心理職として長年従事してきました。その後、山梨県内の大学での勤務を経て、今春、人間心理学科に着任いたしました。「福祉心理学」、「関係行政論」、「心理的アセスメント」等の科目を担当しております。相模原市内を中心に、地域の福祉・教育等の機関とのネットワークを生かしながら学生が主体的に、充実した学びができるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



人間心理学科 助教 加藤 健生 担当科目:社会福祉学 ほか

醤油の都、千葉県野田市出身です。主な担当科目はソーシャルワーク実習指導、社会福祉士国家試験対策講座です。これまで主に自閉症を持つ子どもや大人の発達支援(コミュニケーション支援や自己認知支援、就労準備支援などなど)を家族や他専門職員の人たちと協働して取り組んできました。今後も色々と勉強を続けられたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。



健康栄養学科 教授 片平 理子 担当科目:調理学、調理学実習Ⅰ ほか

4月に健康栄養学科に着任いたしました。主に「調理学」の講義と実習を担当します。これまで管理栄養士や家庭科教員を養成する東京と神戸の大学に勤務し、中学校・高校の家庭科教科書執筆も行ってきました。個人と社会のwell-beingが両立する持続可能な社会について、「食生活」から探る研究を行っています。伝統ある本学で、未来を担う学生さんに伴走するご縁に恵まれ、大変嬉しく思います。どうぞよろしくお願いいたします。



食物栄養学科 教授 大村 正史 担当科目:生化学 ほか

4月に食物栄養学科に着任しました。学科では、栄養学総論、生化学、生化学実験などの基礎科目を担当しております。大学教員になる前は、製薬会社や食品会社で長い間サラリーマンをしておりましたが、ひょんなことがきっかけで教育の世界に足を踏み入れることになりました。本学の学生には、単に担当科目を教えるだけでなく、企業での経験を交えていろいろなことを伝えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



食物栄養学科 准教授 柳内 志織 担当科目:調理学 ほか

4月より食物栄養学科に着任いたしました。主に調理学、調理学実習を担当しております。食に関する幅広い分野に興味を持ちながら、中でも茶や食文化、穀類についても研究活動を進めております。栄養士養成校での教員経験を活かし、本学でも引き続き栄養士教育者として学生の実践的な能力を養い、社会で活躍できる力を持った学生の育成を目指し、精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



食物栄養学科 講師 篠原 暁子

担当科目:栄養の指導

今年度より食物栄養学科に着任いたしました篠原暁子と申します。担当科目は、栄養指導論、栄養指導論実習、公衆栄養学などです。現在の複雑化する栄養課題に対応するためには、私たちの食生活を広い視野で見つめ、多角的に「食」を考えることが重要です。この視点を持ち、人々の健康維持・増進に必要な適切な栄養摂取方法や身体活動を提案できる栄養士を育成する授業を提供してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



食物栄養学科 講師 高橋 孝太

担当科目:給食の運営(給食管理)

4月より食物栄養学科に着任いたしました高橋孝太と申します。主に給食管理やその実習、校外実習などを担当しております。私自身、小学校や病院、高齢者施設、保育園などの施設においての給食に関わる業務に携わって参りました。その中で培ってきた経験を活かした授業を行うことで、皆さんには知識や理論だけではなく、実際に学んだことを活用できる実践力も身につけていただければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



教職センター 特任教授 宇山 裕之

担当科目:教職実践演習

今年度、教職センターに着任いたしました宇山裕之と申します。小・中学校の担任や校長の経験と神奈川県教育委員会勤務等の経験を生かして、採用試験の分析や対策指導・論作文指導・面接指導などの支援を行っています。教職を目指す学生の夢の実現に向けて、学生とともに歩みながら、魅力ある教員を育成できますよう頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



教職センター 特任教授 長崎 麻由美

担当科目:教育課程論

これまで3年間相模女子大学の教職センターで、小中高等学校の教員を目指す学生支援に関わってきました。4月からは、特任教授として、教育課程論、国語基礎・論作文・面接・模擬授業などの講義を担当しております。学生とともに泣き笑いの日々ですが、卒業式の日々の学生たちの輝く笑顔が忘れられません。今後もますます学生支援に力を注いで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



相生祭イベント実施について

今年度の相生祭では、「後援会紹介コーナー」と公益財団法人かながわ健康財団との共催で、「健康促進コーナー」を実施します。

実施日(予定) 11月3日(日・祝)・4日(月・振休)
10:30~15:00

実施場所 7号館1階ラウンジ

開催内容 「後援会紹介コーナー」

後援会の活動に関する展示、『オンライン報告会(教育編)~輝くサガジョ生に会いたい!!~』動画上映、社会起業研究科による「さがじょの四季クッキー」販売等

「かながわ健康財団クイズラリー」

アニメ「はたらく細胞」のキャラクターを活用したスタンプラリー、糖化度測定(体内の老化物質蓄積レベルの測定)、パネル展示など

大学近況報告

学修・生活支援課の取り組みについて

後援会会員の皆様には日頃よりご支援を賜り感謝申し上げます。

学修・生活支援課では昨年度に引き続き、クラブ、委員会、大学祭等の正課外活動の活性化を目指しております。入学前のスクーリングや新入生歓迎会等においてクラブ活動紹介の機会を増やし、新入部員獲得体制を強化いたしました。後援会の皆様より活動に必要な備品の購入等のご支援を頂きましたこともクラブの活気に繋がっております。

また、補完教育の一環として開講しておりますリメディアル講座(「化学の基礎」をテーマにした講座)では、対象学生をこれまでの管理栄養学科に加え健康栄養学科、食物栄養学科の2学科を新規追加し、栄養3学科に拡大いたしました。さらに秋学期は「国語の基礎講座」を前年度より改善

を図り、リピーターを創出する他、新入生等の利用を促進して参ります。本講座実施においても後援会のご支援を頂きましたことと感謝申し上げます。

今後も学修・生活支援課をご支援賜りますようお願い申し上げます。



大学事務部学修・生活支援課長 石上 正也

附属図書館における学生への支援について

附属図書館の取組みについて、日頃より後援会会員の皆様よりご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

アフターコロナの学修環境の中で、後援会会員の皆様からのご支援の下、データベースや電子ジャーナルなどのデジタルコンテンツの整備が進んでおります。改めて皆様のご支援に感謝申し上げます。

学外活動も活発になり、海外への渡航制限も緩和されてきている状況に合わせ、附属図書館では旅行に関する書籍を揃えさせていただいております。学修の一環として各地に出向くこともあれば、夏休みなどを使った旅行など、いろんな場合があると思いますが、学生のうちだからこそ経験できるものや感じることもあると思います。そんな学生たちの旅のお供に、後援

会会員の皆様のご支援により購入させていただいた旅行本を活用し、知見を広げてもらえたと願っております。

今後も様々な学生支援に努めて参りますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



国内外各地の旅行本を揃えております

大学事務部学術研究支援課長 黒井 由美

~9期連続で「地域貢献度ランキング全国女子大学No.1」となりました~

後援会会員の皆様には日頃より学生の地域活動や国際教育へのご支援を賜り感謝申し上げます。2023年度、本学は雑誌『日経グローバル』の調査「大学の地域貢献度ランキング」において全国女子大学No.1の評価をいただき、これを以って、9期連続で第1位となりました(2011~2023年度。2016年度より隔年調査)。本学が実施する地域活動のうち、授業以外に学生が主体的に行う活動を『Sagamiチャレンジプログラム』と呼びます。こういった評価を頂いていることから、学生からは「地域活動を行いたくて本学に入学した」などの嬉しい声も多く聞かれます。『Sagamiチャレンジプログラム』の活動は大学のHP等で公開していますので、是非ご覧ください。

夢をかなえるセンター特設サイトでは、夢をかなえるセンターで行う社会貢献活動や国際教育について、情報を発信しています。

<https://ymkn.sagami-wu.jp>



夢をかなえるセンター連携教育推進課長 会田 恵子

就職状況報告

後援会会員の皆様には日頃より就職支援に多大なるご支援を賜り感謝申し上げます。
本学学生の就職状況および就職支援課の取り組みにつきましてご報告させていただきます。

〈2024年度卒業予定者の就職活動状況〉

株式会社リクルートによると、2024年度卒業予定の大学生の就職内定率は6月1日時点で82.4%と発表されました。これは前年同時点より2.8ポイント増加しており、現行の採用日程が導入された2016年度以降で過去最高の数値となっています。また、就職活動は「早期化」が進む一方、早期に内定を得ても活動を継続する学生が多く、「長期化」の傾向も見られます。

就職内定率についてのニュースが報じられると、まだ内定を獲得していない学生や保証人の方は非常に不安になるかもしれません。しかし、周囲に惑わされず、しっかりと自己を見つめて長期戦で就職活動に取り組むことも重要です。新卒離職率が高い理由の一つには、「学生と企業のミスマッチ」が挙げられます。このミスマッチを防ぐためには、じっくりと自己分析を行い、業界研究や企業研究を徹底することが大切です。焦って大切なものを見失わないよう、就職活動を進めましょう。

私たち就職支援課は、学生たちが希望する進路に進み、安心して就職活動に取り組めるよう、一人ひとりに寄り添った支援を続けてまいります。

〈2025年度卒業予定者の就職活動状況〉

株式会社リクルートによると、就職活動を始める時期として最も多いのは、卒業前年度の6月以前とされています。本学では、大学3年生を対象に4月から、短大1年生を対象に7月から「就職準備講座」を実施しています。この講座は、業界・職種に関わらず、すべての学生に必要な内容となっています。今年度は開催形式をハイフレックスとし、オンラインでも対面でも受講が可能で、より参加しやすい形態としています。今後も多くの学生の参加を期待しています。

この講座の中でも学生たちに伝えていますが、できるだけオープンカンパニー（企業や業界に関する情報提供・PRを目的としたもの）やインターンシップに参加することが大切です。できれば夏休み期間に参加するのが望ましいですが、秋・冬にも開催されるものが多々ありますので、まだ参加していない人の積極的な参加を期待しています。

就職活動について知れば知るほど不安が募る人もいます。ご息女がそのような不安を抱えているような場合は、就職支援課に相談に行くように伝えてください。不安を取り除けるよう、一緒に考えながら支援をしてまいります。

2024年度「オンライン報告会（就職編）」開催のお知らせ ～昔とは違います！今どきの就職活動～

今年度もオンライン（動画配信）にて開催します。

- 配信内容
(予定)
- (1) 学長メッセージ

(2) 内定者獲得学生へのインタビュー(各学科1名の学生が出演予定)

(3) 編入学決定者へのインタビュー(1名の学生が出演予定)

(4) 外部講師の講演

(5) 就職支援課からの報告(就職状況・就職支援課の取り組み)等

配信時期

2024年11月下旬～2025年11月予定

開催通知及び動画の閲覧方法は、保証人宛に郵送いたしますご案内をご確認ください。



2023年度進路決定状況

就職支援課（夢をかなえるセンター1階） 電話／042-742-1734

進路決定者数

	日文	英文	教育	情報	デザイン	社会	心理	健康	管理	学部計	栄養	短大計
卒業者(A)	133	128	122	118	50	121	114	74	114	974	66	66
非就職者												
未登録	0	1	0	0	3	0	1	1	4	10	0	0
大学院	1	0	1	0	0	0	2	1	0	5	0	0
大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
編入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10
専門学校・各種学校	0	1	1	1	3	1	6	0	0	13	0	0
研究生等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
留学(進路先確定)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
留学(進路先未確定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アルバイト	0	0	0	0	0	2	2	0	0	4	0	0
家事従事	18	8	5	8	1	6	16	1	1	64	1	1
未報告	0	5	5	4	4	0	0	0	1	19	0	0
その他	0	3	1	2	0	0	0	0	0	6	0	0
計	19	19	13	15	11	9	27	3	6	122	11	11
就職指者												
未決定者	3	0	0	4	0	2	0	0	0	9	1	1
決定者(B)	110	109	109	99	39	110	87	71	108	842	54	54
計(C)	113	109	109	103	39	112	87	71	108	851	55	55
希望率(C/A)	85%	85.2%	89.3%	87.3%	78%	92.6%	76.3%	95.9%	94.7%	87.4%	83.3%	83.3%
決定率(B/C)	97.3%	100%	100%	96.1%	100%	98.2%	100%	100%	100%	98.9%	98.2%	98.2%

決定者の職種別内訳

	日文	英文	教育	情報	デザイン	社会	心理	健康	管理	学部計	栄養	短大計
総合職	31	32	2	21	8	25	20	9	6	154	3	3
事務職	18	18	4	14	3	31	14	3	2	107	4	4
司書・図書館関連	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
営業職	6	16	2	6	3	14	7	4	2	60	0	0
販売職	13	7	0	6	4	8	8	4	1	51	5	5
栄養士	0	0	0	0	0	0	0	39	26	65	37	37
管理栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	57	57	0	0
食品技術者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
研究開発(栄養士免許取得見込者)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
調理員	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1
学校栄養職員	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0
保育士	0	0	48	0	0	0	0	0	0	48	0	0
保育教諭	0	0	11	0	0	0	0	0	0	11	0	0
介護職・生活支援員	5	1	0	1	1	7	13	1	1	30	0	0
児童指導員	0	0	5	0	0	1	5	0	0	11	0	0
社会福祉士	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0
教諭(幼稚園)	0	0	11	0	0	0	0	0	0	11	0	0
教諭(小学校)	0	0	21	0	0	0	0	0	0	21	0	0
教諭(中学)	7	1	0	0	0	0	0	1	0	9	0	0
教諭(高校)	2	0	0	1	0	0	0	3	0	6	0	0
教諭(盲・聾・養護)	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0
教諭(その他学習塾など)	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0
設計職	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0
製造職	5	2	0	1	2	0	0	3	0	13	1	1
サービス職	8	15	1	8	2	3	5	3	3	48	0	0
インストラクター	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0
エステティシャン	0	0	0	1	1	0	2	0	2	6	0	0
警察・自衛隊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
デザイナー	0	0	0	1	3	0	0	0	0	4	0	0
S E	9	7	1	28	3	11	9	0	1	69	0	0
プログラマー	0	1	0	4	0	0	0	0	0	5	0	0
webデザイナー	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
映像撮影者・AD・俳優	0	0	0	1	0	3	0	0	0	4	0	0
編集・翻訳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
その他の専門職	0	0	0	2	2	2	0	0	0	6	1	1
その他の保険医療従事者	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3	0	0
建設・採掘職	0	1	0	1	0	1	0	0	0	3	0	0
経営者・代表職・社長(起業含む)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
その他	0	6	1	2	4	0	3	0	0	16	1	1
合計	110	109	109	99	39	110	87	71	108	842	54	54